

11/23

北福島パークゴルフ愛好会主催のパークゴルフ飯館大会を開催

北福島パークゴルフ愛好会主催のパークゴルフ飯館大会が福島市瀬上町内の阿武隈川河川敷で開催され、飯館村民約30人が参加しました。

同愛好会の中島真一会長が比曽行政区出身であることもあり、震災を機に避難した村民に声をかけ愛好会への加入者を募りました。愛好会には、福島市、伊達市の県借り上げ住宅の避難者を中心に、飯館村民30人ほどが加入し今大会が開かれました。



▲パークゴルフ飯館大会のようす



▲▼秋祭りはたくさんの人で賑わいました



11/6

子どもたちが楽しむ機会をつくる

吉倉公務員宿舎自治会が秋祭りを開催しました

吉倉公務員宿舎で秋祭りが開催され、宿舎入居者や吉倉周辺の借上げ住宅に避難している村民、近隣の保育園児ら150人が参加しました。

この秋祭りは、子どもたちが集まって楽しめる機会をつくろうと、新たなコミュニティづくり支援事業を活用して、宿舎の自治会が企画し、実行委員会を組織して開催したものです。

まつりでは、自治会員らが焼きそばや豚汁などを作り、無料で振る舞ったほか、子ども向けに輪投げやビンゴゲーム大会も開かれました。

当日は小雨のばらつく肌寒い天気でしたが、子どもたちは、お菓子や風船を手にしながらまつりを楽しんでいました。

吉倉自治会長の嶋原良友さん（長泥）は「このような活動を今後も続けていきたい。村民の皆さんには、この自治会に加入していなくても吉倉で行われる活動にどんどん参加してほしい」と今後の展望を話しました。

11/13

仮設住宅の防火訪問を実施

平成23年秋季全国火災予防運動の一環として、村消防団、女性消防隊、南相馬消防署飯館分署の職員が仮設住宅の各戸を巡回し、防火訪問を行いました。

今回の訪問は、これから冬を迎えるにあたり、仮設住宅での防火対策が課題となっていることから実施を決めたものです。

村消防団幹部・女性消防

隊役員・飯館分署

職員が4班編成で、

相馬・伊達東・国

見上野台・国見大

木戸の仮設住宅入

居者を1軒1軒訪

問し、防火のため

の3つの習慣・4

つの対策が書かれ

たチラシを配布し

ながら火事に対す

る注意を呼びかけ

ました。

入居者らは、「

わびわびで飯館か



▲防火訪問のようす



ら来てくれてありがた。火の取り扱いに注意したい」「ガスコンロのかけ忘れにも注意します」と防火への意識を新たにしようすでした。

今回活動を行った村消防

団・女性消防隊・飯館分署

では、平成24年春季全国火

災予防運動時には福島方面

の仮設住宅を訪問したいと

しています。

10/23

村消防団が秋季検閲式を行いました

平成23年飯館村消防団秋季検閲式は、飯館村公民館前駐車場を会場に行なわれ、村消防団員や女性消防隊ら約140人が参加しました。

今回の式では分列行進を行わず、消防団員の服装や規律を確認する通常点検、機械器具に故障がないかを確認する機械器具点検のみが行われました。

通常点検では、村長が検閲官となり、整列した団員の前後を歩いて服装の乱れがないかなどを点検しました。



▲通常点検のようす

機械器具点検では、各行政区に配置されている消防用ポンプが正常に作動するか、また、草野、飯樋、白石地区にそれぞれ配備されているポンプ車のエンジンや計器類が正しく作動しているかについて確認を行いました。

それぞれ避難先から集まり式に参加した団員たちは、服装を正し、機械器具が正常に動くことを確認することで防火への意識を再確認しているようすでした。



▲機械器具点検のようす

10/19 菅野敬さん(関根・松塚)が
全国表彰を受賞

村防犯指導隊の菅野敬隊長(関根・松塚)に財団法人全国防犯協会連合会から防犯功労者栄誉銅賞が贈られ、授賞式が行われました。



▲防犯功労者栄誉銅賞を受賞した菅野敬さん

菅野さんは、平成元年から防犯指導隊長として村の安全を守るために尽力してきたこと、震災直後に、防犯指導隊を指揮し村内の自主パトロールを行ったことなどが今回の受賞につながりました。授賞式は、郡山市で行われた第32回全国地域安全運動福島県民大会の席上で行われました。

11/15 村民の憩いの場として2ヵ月
いやしの宿いいたてのカード登録者が1,000人を突破しました

「いやしの宿いいたて」では、初回利用時にカード登録をしていただくことで、次回からの手続きを簡素化しています。この度、「いやしの宿いいたて」が開所してから2ヵ月が経ち、カード登録者が1,000人を突破しました。



▶1000人目の登録者となった石井さん(左)

11月15日に、1,000人目となった石井美代子さん(白石)には記念品が贈られました。また、施設の正面玄関には(株)佐藤石材(佐藤正勝代表)から石版が寄贈され「いやしの宿いいたて」を彩っています。



▶正面玄関に寄贈された石版

11/15 松川第1仮設住宅で縫い物サークル「いいたてカーネーション会」が始動

松川第1仮設住宅で縫い物サークル「いいたてカーネーション会」が始動し、入居者が古い着物を「まいで着」として再生しています。

この活動の発案者は佐野ハツノさん(前田・八和木)。部屋にこもりがちになるお年寄りのために何かできないかと活動を思いついたそうです。

農業関係の広報紙で全国に着物の寄付を呼びかけ、集まった着物をその良さを生かしながら上下の和服に作り替えて行きます。

同サークルは、毎週水曜日、仮設住宅内の集会施設に集まり「まいで着」「綿入れはんてん」づくりに励んでいます。



▲サークルに参加している皆さん

11/3 いったて愚真会が
放射能に負けない新そばまつりを開催

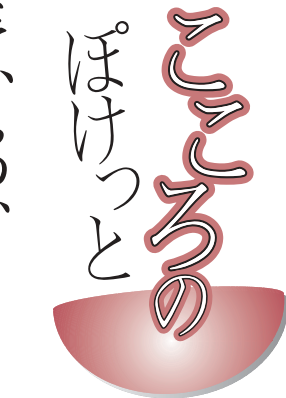
いったて愚真会(佐藤公一会長)が、福島市飯坂町のいやしの宿いいたてで、「放射能に負けない新そばまつり」を開催し、打ち立ての新そばの試食会を行いました。

このまつりは、震災と原発事故により、住民が避難生活を送っている現状を踏まえ、「事故の収束が見えず不安な日々を送る村民の心を一つにしたい」と企画したものです。

愚真会会員とそば処どう楽(福島市)会員との交流会も合わせて行われ、北海道産のそば粉を使い、来場者に70食の新そばを無料で振る舞いました。



▲新そばまつりのようす



よそからの、「お互いさま」

私たちに、何の責任もなく、家もなくなっていないのに、つらい避難生活を強いられること、実にくやしい限りです。

でも、このような大変な時だからこそ「お互いさま」の気持ちで乗り切りたいものです。今、村で進めている「まいでライフ」の中にもその思いがあるのですから。

そのような「お互いさま」の心が、よその方々から数多く寄せられています。その一つは、1月に行う予定の成人式に「復興を担う成人式に着物姿で臨み、気持ちを新たに試練に立ち向かってほしい」ということで、全国から晴れ着の寄付を呼びかけてくれている方がいます。

「去年、娘が着た物なので」「天国で姉も喜んでいるでしょう」など、す

に全員分集まっているそうです。もう一つは、私の知り合いに岐阜県白川町長がいますが、「ぜひ頑張ってください」ということで、以前100万円を持って訪ねてきてくれました。

今回、また、町民からの寄付を募ったので270万円を持ってきてくれました。

今回は、「いいたてっ子の皆さんへ」という町民からのメッセージが寄せられた冊子付きでした。その中に、「皆さんは、福島市内の学校に避難通学されていると聞きました。故郷ほど良いところはあります。人は誰でも年をとると故郷が恋しくなります。皆さんもつらいでしょうが、我慢して一生懸命勉強して5年後、10年後、大人になったら自分の力で、もう一度自分たちの力で村を立て直していくような大人になってください」というメッセージがありました。

どちらの話も、次世代への励ましでありがたくて胸が熱くなります。私たちも、「お互いさま」の心でこの難局を乗り越えたいものです。

平成23年11月24日

飯館村長 菅野典雄

地震発生からの主な経過 (10月19日から11月20日まで)

10月19日	菅野敬さん(関根・松塚)が防犯功労者栄誉銅賞を受賞し第32回(全国)地域安全運福島県民大会の席上で表彰される(郡山市)
23日	飯館村消防団秋季検閲式が行われる(飯館村公民館前庭)
24日	県借り上げ住宅避難者との懇談会(飯野町)
25日	県借り上げ住宅避難者との懇談会(川俣町)
28日	県借り上げ住宅避難者との懇談会(南相馬市)
30日	「サポートセンターあづまっぺ」が松川第1仮設住宅に開所(福島市松川町)
31日	飯館中学校が川俣町で文化祭「赤蜻祭」を開催(川俣町)
11月1日	仮設住宅・公営宿舍避難者との懇談会(福島市松川町) 「サポートセンターあづまっぺ」で地域交流サロンと通所介護サービスが始まる(福島市松川町)
2日	仮設住宅・公営宿舍避難者との懇談会(福島市松川町)
4日	第2回いたて復興計画村民会議を開催(福島市飯野町)
7日	仮設住宅・公営宿舍避難者との懇談会(福島市松川町)
9日	ドイツ研修に参加した飯館中学校生が特別授業を実施(福島大学)
10日	飯館中学校3年生が福島大学を見学(福島大学) 仮設住宅・公営宿舍避難者との懇談会(伊達市) 仮設住宅・公営宿舍避難者との懇談会(国見町)
11日	第5回東京電力原発事故災害復興対策特別委員会(議会・福島市飯野町)
14日	第2回飯館村除染計画説明会を開催(小宮行政区住民対象・福島市飯野町)
15日	仮設住宅・公営宿舍避難者との懇談会(福島市飯野町)
16日	仮設住宅・公営宿舍避難者との懇談会(福島市吉井田)
17日	仮設住宅・公営宿舍避難者との懇談会(福島市松川町)
18日	第3回いたて復興計画村民会議を開催(福島市飯野町)
20日	第23回ふくしま駅伝が開催される 福島県議会議員一般選挙が執行される

ひとつのうごき

(10月21日から11月20日までに届け出のあったもの)

誕生おめでとう



赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
長谷川 羽希ちゃん	義宗・千代美	前田
仁科 紬ちゃん	貴文・真澄	佐須

10月21日から11月20日まで

すくすくと育ててね

結婚おめでとう



氏名	出身地
村上 誠子	上飯樋 相馬市
村山 翔太	深谷 福島市
佐藤 祐太	比曾 二本松市
細川 智え	上飯樋 伊達市
安齋 行雄	藤原 平
原田 直美	藤原 平

10月21日から11月20日まで

いつまでもお幸せに

おくやみ



氏名	年齢	行政区
佐藤 昭二	72	上飯樋
中島 タケヨ	93	比曾
石井 アサヨ	90	白石
菅野 俊一	71	佐須
佐藤 トミノ	84	比曾
大内 清子	80	芦原・八木沢
手戸 清孝	91	関沢

10月21日から11月20日まで

ご冥福をお祈り申し上げます

編集後記

震災前は毎月発行されていた「広報いたて」。震災後の7月中旬に発行を再開して以来、発行間隔を埋めることができずに今回併号をだすことになりました▼間もなく年が明けます。今年は村民全員が大変な思いをしながら過ごしました。来年こそは一人ひとりに少しでも良い年が訪れますようにと願わずにはいられません。



▲ふくしま駅伝のようす



▲飯館中学校「赤蜻祭」のようす